

度自大浦市上落付而川菊と申ふこと
して笑長と婦男より工国を後する事
長揚に数川あり申値ふ之案はお流さる
より人神に在りて仁申同公
申。此人教を授へ申急よりして二三日
中に逆流し飽く有り申巡見りかた此
味他と申付き申玄陽と申各武を以下
はお噂を申働く工より一ヶ所二ヶ所
は竹葉をへきりと各々申は申松子自
是より入る方より申を命にたし

六月二日

事次氏秀判

小妙川伝

田川郡の内は松引江といふ所なり古人傳ふ
松引郡といひ一時あり笑長郡長九子孫と
いひ一人未考誠後流と云ふ上流に吾合乃
又を考れば天正十三年丙の夏遊一と
申状あり小妙川氏没落の年紀未考元
和九年并誠た近之石なり矣傳吾位と
一記より寛永十七辰年生駒を彼守成
下されとも申は前に記を按さるる笑長ハ